

令和7年度 第28回全国水産・海洋高等学校ダイビング技能コンテスト
施設・設備の状況に合わせたルールの一部変更について（お知らせ）

全国水産高等学校長協会教科「水産」研究委員会
潜水部会 事務局

◆現在適用されているルール

「全国水産・海洋高等学校ダイビング技能コンテスト競技種目及びルールブック
（令和元年度以降の大会に適用）」

◆施設・設備の状況

設備：福岡県立水産高等学校 潜水プール

状況：最大水深が3mであり、中性浮力コントロールテクニックのルール変更が必要

◆変更しなければならない箇所

<7ページ>

3. 中性浮力コントロールテクニック（チーム代表）

6) その他

リングは、一辺が120cmの正方形とし、水中に設置（菱形になるようにし、最深部を3m50cmになるように）する。

◆変更後の記載

<7ページ>

3. 中性浮力コントロールテクニック（チーム代表）

6) その他

リングは、一辺が120cmの正方形とし、水中に設置（菱形になるようにし、最深部を2m10cm程度になるように）する。

◆変更の根拠

令和6年度大会（主管校：茨城県立海洋高等学校、会場校：愛知県立三谷水産高等学校、中性浮力コントロールテクニック会場：名古屋リゾート&スポーツ専門学校）においても、中性浮力コントロールテクニック競技を水深3mで実施した。その際、競技に支障がない位置を会場校が試行錯誤し、リングの下端が2m10cmとなる場所が最適だと判断した経緯があるので、前例に従い、令和7年度大会でも同様の対応を行うことにした。

【参考】ルールブック11ページ

9. ルールの一部変更

競技会場の施設・設備によりルールの一部を変更することがある。

ただし、変更時には全国水産高等学校長協会総会で連絡し、大会要項に記載しなければならない。
（今後、会場によりプールの長さや深さ等に違いがでる可能性があるため）